

事務事業評価

令和4年度

担当課

環境課

基本事項	事務事業名	市民清掃経費				整理番号	1013	
	根拠法令等	なし				実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標2 安全安心で住みよいまちづくり	予算科目	4 款 1 項 2 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規		
		施策	施策2-2 環境にやさしく暮らすまち	事業区分	市民サービス事業			

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	(経過) 旧島原地区は「白土湖をきれいにする会」から発展拡大した「島原を美しくする会」と市が共催して昭和50年に「市民清掃」第1回目を実施して以来平成3年度を除いて毎年2回実施。旧島原地区が6月、9月の年2回、有明地区が6月、8月、12月の年3回実施している。 道路、公園、側溝など普段手が入らない公共的部分を中心に清掃、除草、空き缶、空ビン、散乱ごみ拾いなどを呼びかけている。 近年、公共的な場所が整備されていることもあり、個人の剪定ごみ等の搬出が増加傾向にあるため、平成21年度から剪定ごみの排出抑制を呼びかけている。				計画期間	始期	昭和	50	年度から
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	保健環境連合会(町内会・自治会)を実施主体として市民が自主的に、道路や公園等の公共的な場所を旧島原地区では年2回、有明地区では年3回、きれいな街づくりと生活環境の整備及び美化を推進するため、清掃活動を実施する。								
	目的達成のための具体的手段・方法	保健環境連合会(町内会・自治会)と市長との連名で広報、班回覧、防災無線等を通じ、広く市民へ参加を呼びかける。令和3年度から、市役所周辺の国道251号沿道の事業所に周知チラシの配布を行う。 旧島原地区:町内会で清掃し、集積した草木や土砂を市が委託した業者が指定場所に搬入する。 有明地区:自治会が清掃し、集積した草木等を自ら指定場所に搬入する。								
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	2年度	3年度	4年度			
		①快適な生活環境が実現していると感じる市民の増加。		目標						
活動指標 (目的達成のために行った活動実績)	①班回覧及び防災無線で周知し、参加を呼びかける。市役所周辺の国道251号沿道の事業所に周知チラシの配布を行った。		目標		実施	実施	実施			
			実績		実施	実施	実施			
	②市民清掃時ごみ処理量(令和3年9月は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止)		目標							
			実績	t	266	175	208			

事業費等の推移	年度		30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	①直接事業費(千円)		5,172	5,056	5,375	3,983	5,324	5,761
	財源内訳	国県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	5,172	5,056	5,375	3,983	5,324	5,761
	②従事職員給与費 b1×b2		2,452	2,410	2,420	2,394	2,366	2,366
	従事職員数(人) b1		0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32
	職員平均人件費 b2		7,663	7,530	7,563	7,482	7,393	7,393
事業費合計 ①+②		7,624	7,466	7,795	6,377	7,690	8,127	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 環境意識の進展により環境美化への市民の関心は増している。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 市民清掃自体が市民・ボランティア活動であり、市は草木等の収集及び処分を行っている。	C
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 公共の場所の美化が目的であり、限定された対象者はいない。またその目的は普遍的なものであり、時代による変化等は少ない。	A
	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 市民清掃後の街の景観から成果指標は概ね達成していると判断されるが、個人の庭の枝木、取残し収集や、後出し対応が課題である。	B
有効性	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 市民清掃への参加人数が多いほうが、環境美化の向上につながるため、今後事業所等への参加呼びかけの拡充を行い、市民総参加の市民清掃を目指す。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 班回覧や防災無線により周知、参加の呼びかけを行っているが、高齢化により参加者の減少が見込まれるため、事業所への参加周知を拡充していく。	B
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 旧島原地区と有明地区で実施方法(時期・回数)が異なっているが、回数減等が見込めるため、統合に向けて、保健環境連合会と協議を図っていく。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 町内会、自治会での活動が市民・ボランティア活動であり、事前の連絡や取残し対応等連携は取れている。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 事業の性質上、市民全体が受益者である。	A
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
			<p align="center">判定評点平均（3点満点）</p> <p>A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算</p> <p align="right">2.30</p>

◎ 総合自己評価（所管部署）

評価結果	<input type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input checked="" type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	事業の有効性、効率性、公平性ともに適正であり、今後も継続して実施する。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 高齢化による参加者の減少や、公共の美観に影響する空き地、空き家等の民地について、対応を検討していく。また、合併以後10年以上有明地区と旧島原地区の実施方法が旧来どおりのまま統一されておらず、課題となっているため、保健環境連合会(町内会・自治会)と今後も協議を図っていく。		
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。			

【2次評価】

総合判定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備考	公共的部分の清掃を市民が行うことにより、最小の行政コストで市内の公衆衛生と景観を保つことができる。一方、担当課も認識されており、旧島原と旧有明で実施日や回数も異なるため、統一して実施することでさらなる効率化を図れるものと考えられる。また、近年は高齢化のあおりを受け、参加者が減少傾向であることも現状としての課題があるとのことなので、協力していただける事業所を少しでも増やし、継続的な取り組みを行っていただきたい。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	437 (千円)